

■平田篤胤 国学者。独自の宗教的な説と精力的な活動で大きな影響及ぼすも、幕府に嫌われ、失意のうちに没した。

ひらたあつたね

雨月物語刊・1776＝ 出羽国秋田の久保田城下で、秋田藩士大和田酢胤の四男に生まれる。

里子や養子に出されたりして、不遇な幼少年時代を送ったと伝えられる。

蝦夷初調査・1785＝ 9歳：  
田沼意次失脚1786＝10歳：

松平定信引退1793＝17歳：  
オランダ正月・1794＝18歳：  
写楽・・・1795＝19歳： 脱藩して江戸へ出で、仕事を転々とした後、

昌平黌始・・・1797＝21歳： 灯火があつて勉学しやすいと呉服屋の奉公に落ち着いて、生計を立てながら苦学するうち、

蝦夷地直轄始1799＝23歳： 3年前と同じように勉学の声が聞こえることに、備中松山藩主板倉侯が興味を持ち、  
伊能測量始・1800＝24歳： その命で調査した家臣で国学師範の平田篤穩に感心されて、その養嗣子となり、平田篤胤と名乗る。  
宣長没・・・1801＝25歳： 石橋織瀬と結婚。  
一九膝栗毛始1802＝26歳： 長男が誕生するも、  
アメリカ船来航始1803＝27歳： 夭折。この頃、 本居宣長の著書に接して感激。処女作「呵妄書」を著して太宰春台に反論。  
イザノ来航・1804＝28歳： 「伊勢物語梓弓」成る。＊私塾(真菅舎)を開いて、弟子を取り始め、  
青洲麻酔手術1805＝29歳： 長女が誕生。 夢の中で宣長から死後の門弟たる認可を得たと称して、本居春庭に入門。「鬼神新論」を書いて有鬼論(「鬼神論」)を唱え、  
イザノ報復・1806＝30歳： 「本教外篇」などにより、 後年の独特な学問体系の基礎をかため、  
ワジ船狼藉・1807＝31歳： 医業も始めながら学問を続け、  
フェートン号事件 1808＝32歳： 次男が誕生。 神祇伯家から古学教授を委嘱されるに至る。  
浮世風呂・・・1809＝33歳： 医業をやめて、 以後、学問に専念し、  
ゴロウコン拿捕 1811＝35歳： ＊師と仰ぐ宣長の学問にふと疑念を抱くという一種の回心を経験したことから「古史成文」を撰し、「古史徴」の草稿を作り、「古史伝」に着手するなど、師説とはまったく異質な篤胤学の形成に努力を傾注する。  
高田屋拿捕・1812＝36歳： 妻が病死。「霊能真柱」成る。  
黒住教・・・1814＝38歳： 「三大考弁々」成る。  
・・・1815＝39歳： この年入門した佐藤信淵とは、師弟を超える学友として切磋琢磨。  
伊能測量終・1816＝40歳： 私塾を(気吹舎)と改称し、大角と号する。

水野忠成老中1818＝42歳： 次男も夭折。再婚。  
この間、多くの門生を抱えるも、生活は相変わらず苦しいが、後妻の愛情に支えられ、ライフワークの「古史伝」をはじめ、「古史成文」に取り組む一方、  
・・・1820＝44歳： 天狗小僧虎吉を知って、幽界の研究に傾倒して行き、  
伊能図完成・1821＝45歳：  
英船浦賀来航1822＝46歳： 「古今妖魅考」「仙境異聞」なども著す。「ひとりごと」、  
シボノ来日・1823＝47歳： 「吉田家系譜伝」。板倉侯のもとを致仕するとともに、著書天覧の榮譽を受け、以後、一層学問に没入し、  
シボノ来鳴滝塾1824＝48歳： 「黄帝伝記」「古道大意」。門人碧川篤仁を養子に迎え、長女の婿とし、鍊胤と改名させる。  
・・・1826＝50歳： 「印度藏志」「大扶桑国考」。尾張徳川家に入出入りを許され、手当を受け始める。  
日本外史・・・1827＝51歳： 「赤県太古伝」、  
シボノ来事件・1828＝52歳： 「三五本国考」、  
この間、 幕府への出仕の願いが叶いそうもないことから、故郷秋田藩佐竹家への帰参を望むようになり、  
富籤流行・・・1830＝54歳： この頃から、 ＊帰郷の願書を出し始めるが、  
富籤三十六景1831＝55歳： 「古史年歴編」「春秋命歴序考」、  
鼠小僧磔・・・1832＝56歳： 「引仁暦運記考」、  
天保大飢饉始1833＝57歳： 「三暦由来記」、  
高島砲術・・・1834＝58歳： 「皇国制度考」や、  
滑稽+人情本 1835＝59歳： 「三易由来記」、  
・・・1836＝60歳： 「太笑古易伝」「太曇古暦伝」、  
大塩平八郎乱1837＝61歳： 「天朝無窮暦」が司天台から糾問されるなど、 その精力的な活動に猜疑の眼を向けられ、  
塾塾ホヅン・1838＝62歳： 「天朝無窮暦後篇」、  
蛸社の獄・・・1839＝63歳： 「古史本辞経」。この年、 ようやく、帰郷の許可が出るものの、  
天保改革始・1841＝65歳： ＊ついに、「大扶桑国考」を問題にし、江戸退去と著述禁止を申し渡され、結果として郷里の秋田に帰る。  
天保改革弾圧1842＝66歳： 藩から居宅を与えられ、幕命の有免を願って種々運動したが果たされず、  
順天堂始・・・1843＝67歳： 失意のうちに病で没した。  
平田神道ともいわれる神秘的な神学体系を作り上げ、門人の総数は553名に達し、後世に大きな影響を及ぼすことになる。

中公シリーズ「日本の名著」、「人づくり風土記(秋田)」、「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、日本の古典名著、